

1. Eclipse のインストール.....	2
2. SDK 言語パックのインストール.....	2
3. VE, WTP の日本語化.....	3
3.1. VE, WTP のインストール.....	3
3.2. VE の日本語化.....	4
3.3. WTP の日本語化.....	5
4. TPTP の日本語化.....	6
5. まとめ.....	6

本資料では提供が始まった Eclipse 3.1 向けの言語パックを利用した日本語化の手順について説明します。

今回は SDK だけでなく、VisualEditor(VE)やUML2、WTP、TPTP など注目のプロジェクトに対する言語パックも提供されていますので、この中から VE、WTP、TPTP の日本語化も行ってみます。

1. Eclipse のインストール

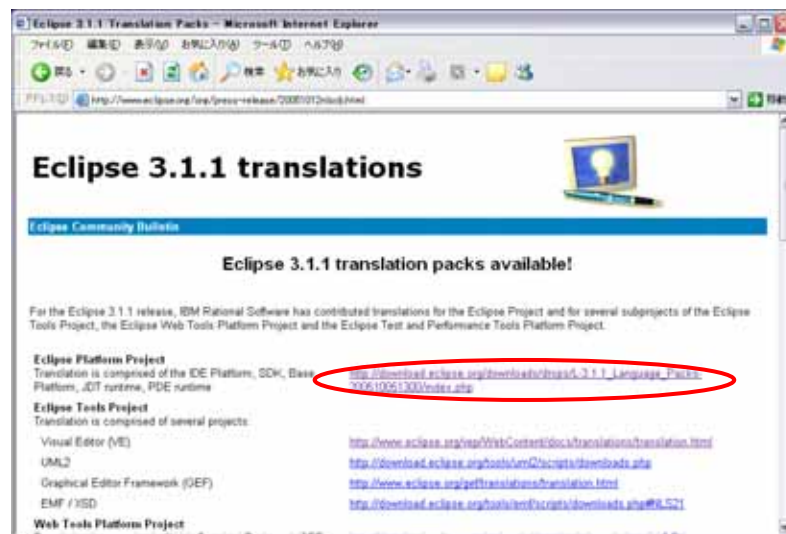
まずは、Eclipse3.1.1 をダウンロードページ(<http://eclipse.org/downloads/index.php>)から入手してインストールしましょう。以降の説明では Eclipse のインストールディレクトリを%ECLIPSE_HOME%と表記します。

2. SDK 言語パックのインストール

次に SDK の言語パックをインストールします。

今回は SDK の言語パックの手順のみ説明しますが、同ページで、各種ランタイムの言語パックも提供されています。手順は一緒ですので、必要に応じてインストールしてください。

言語パックのリリースページ(<http://www.eclipse.org/org/press-release/20051012nlscb.html>)から Eclipse Platform Project のリンクをクリックします。



現段階では言語パックは言語ごとに3種類提供されていますが、今回は日本語を含む NLPack1 を使用しますので、環境に合わせてファイルをダウンロードします。

- NLpack1_FeatureOverlay-eclipse-SDK-3.1.1.zip
- NLpack1-eclipse-SDK-3.1.1a-win32.zip

ファイルをダウンロードしたら、%ECLIPSE_HOME%に plugins と features を上書きする形で解凍します。

ここまでで、SDK の日本語化は終了ですので、Eclipse を起動し、日本語化されていることを確認します。



3. VE、WTP の日本語化

次に、VE と WTP をインストールし、こちらも日本語化してみましょう。

3.1. VE、WTP のインストール

まずは日本語化の元となる VE と WTP をインストールします。

これらのインストールは、各プロジェクトのページから必要なものをダウンロード&解凍して行う事も出来ますが、今回は更新マネージャから行います。

[ヘルプ]-[ソフトウェア更新]-[検索とインストール]を選択します。

[インストールする新規フィーチャーを検索]にチェックを入れ[次へ]をクリックします。

検索に含めるサイトで[Eclipse.org 更新サイト]をチェックし、[終了]をクリックします。

ミラーサイトを選択し、検索をし、[インストールするフィーチャーの選択]から[VE]、[WTP 0.7][EMF SDK 2.1.0]、[GEF 3.1.1]を選択し、[次へ]をクリックします。EMF と GEF は VE、WTP の動作に必要なプラグインです。

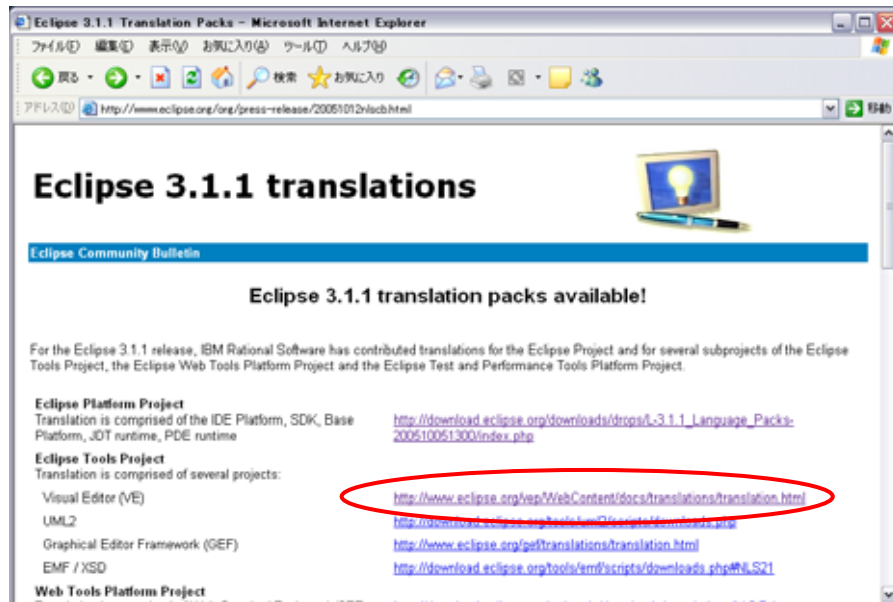


あとはそのままウィザードを進めて、インストールを完了させます。

3.2. VE の日本語化

それでは、インストールした VE を日本語化しましょう。

言語パックのリリースページ (<http://www.eclipse.org/org/press-release/20051012nlscb.html>) から Visual Editor(VE)のリンクをクリックします。



先ほどインストールした VE は 1.1.0 ですので、対応する言語パック(1.1.0.1 Language Pack)をダウンロードします。

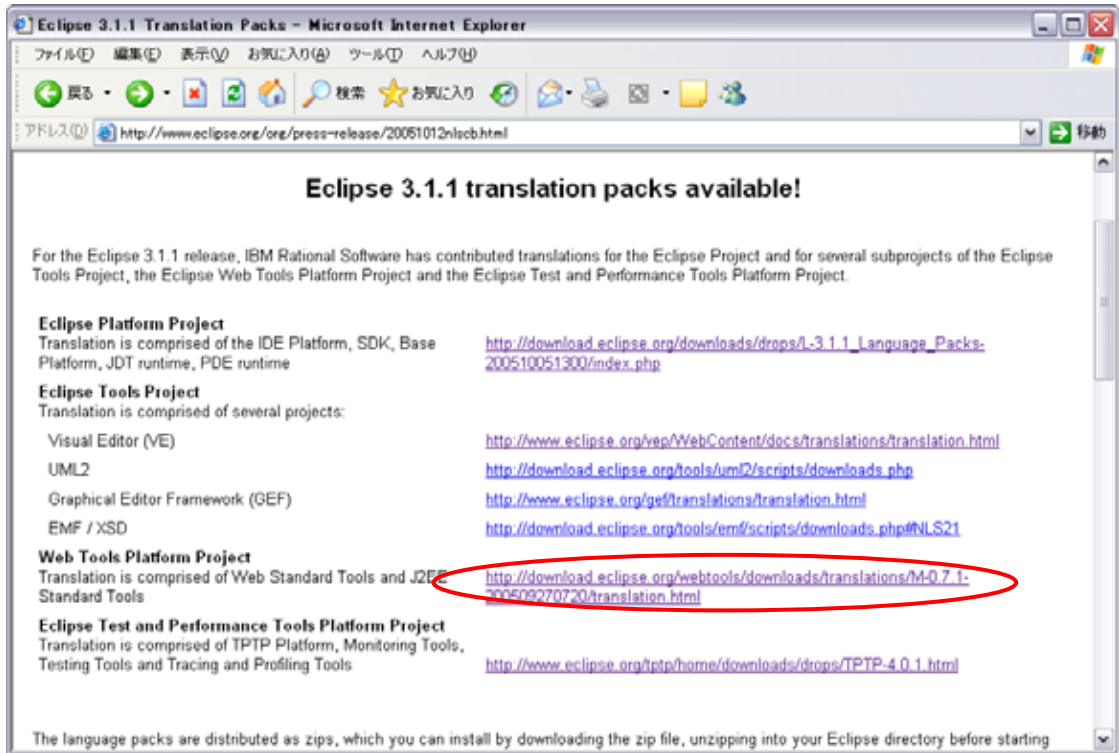
- NLpack1_FeatureOverlay-VE-SDK-1.1.0.1.zip
- NLpack1-VE-SDK-1.1.0.1.zip

ファイルをダウンロードしたら、先ほどと同様に%ECLIPSE_HOME%に plugins と features を上書きする形で解凍します。

3.3. WTP の日本語化

次に WTP の言語パックをインストールします。

言語パックのリリースページ(<http://www.eclipse.org/org/press-release/20051012nlscb.html>)が Wtb Tools Platform Project のリンクをクリックします。



WTP0.7 に対応する言語パック(0.7.1 Lanaguage Pack)をダウンロードします。

- NLpack1-wtp-sdk-0.7.1.zip
- NLpack1_FeatureOverlay-wtp-sdk-0.7.1.zip

ファイルをダウンロードしたら、先ほどと同様に%ECLIPSE_HOME%に plugins と features を上書きする形で解凍します。

なお、執筆時(2005年10月14日)の段階では、日本のミラーサイトにはまだファイルが存在しないようなので、ダウンロードに失敗した場合は Main Download Site からダウンロードしてください。

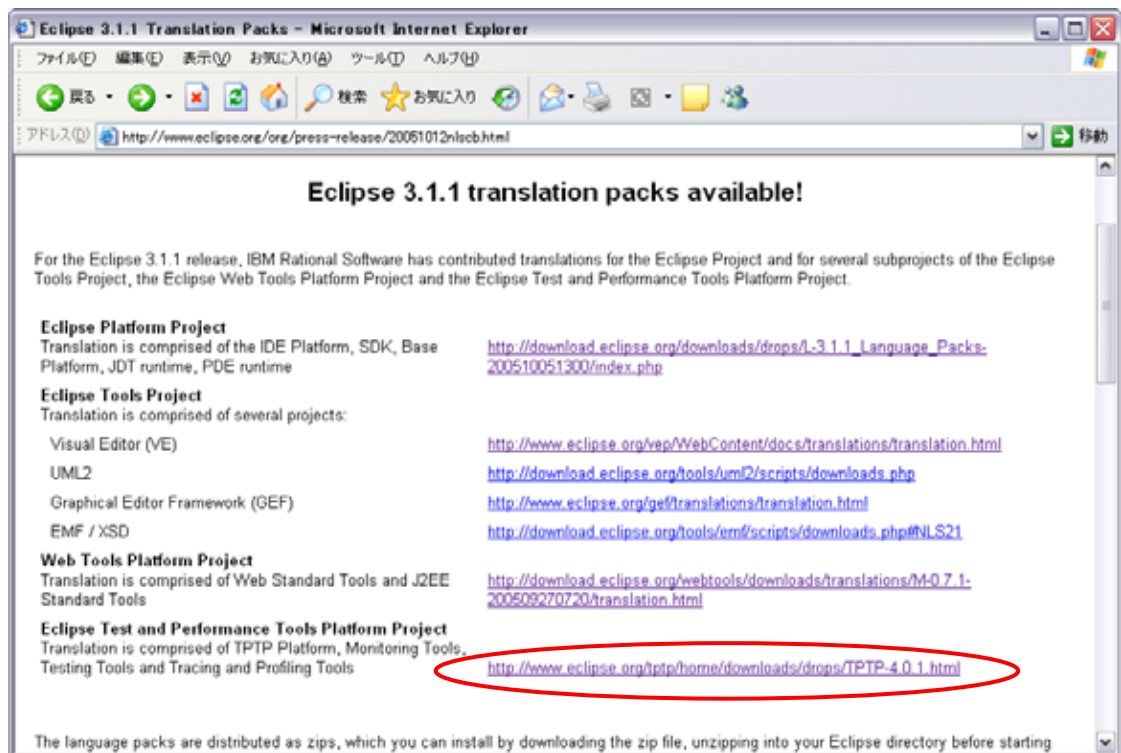
4. TPTP の日本語化

次に TPTP をインストールして、こちらも日本語化してみよう。

現在リリースされている言語パックは TPTP4.0.1 様ですので、今回は TPTP 4.0.1 を利用します。

TPTP のダウンロードページ(<http://www.eclipse.org/tptp/home/downloads/downloads.html>)からファイルをダウンロードしたら、%ECLIPSE_HOME%に plugins と features を上書きする形で解凍します。

言語パックのリリースページ (<http://www.eclipse.org/org/press-release/20051012nlscb.html>) が Eclipse Test and Performance Tools Platform Project のリンクをクリックします。



言語パック(SDK Group 1)をダウンロードします。

- NLpack1-tptp.sdk-TPTP-4.0.1-200510031151.zip
- NLpack1_FeatureOverlay-tptp.sdk-TPTP-4.0.1-200510031151.zip

ファイルをダウンロードしたら、先ほどと同様に%ECLIPSE_HOME%に plugins と features を上書きする形で解凍します。

5. まとめ

今回は Eclipse 3.1.1 の日本語化の手順を説明しました。言語パックのリリースにより、これからは Eclipse 3.0 から 3.1 への移行が進むとともに、WTP や TPTP などの国内での利用も進むこととでしょう。

記述内容に何かお気づきの点、質問等ありましたら下記までご連絡ください。

開発部
横井 朗
yokoi@bbreak.co.jp